

朝焼けのアルブレヒト城

マイセン磁器のノウハウが漏れるのを恐れたアウグスト強王は、堅牢かつ自然の要塞に囲まれたアルブレヒト城に1710年、磁器工場を設立しました。

世界の地域から

マイセン市 (ドイツ連邦共和国)

欧州で初めて白磁の磁器製造に成功し、現代もなお西洋白磁の名窯と称えられる「マイセン」。そのお膝元であるマイセン市はドイツザクセン州ドレスデン地方に位置します。

マイセンの歴史は古く、「白い金」といわれた中国景德鎮や伊万里の磁器に恋い焦がれたアウグスト強王の時代、約300年前までさかのぼります。

マイセンには、長い歴史とともに新しいものにチャレンジするという精神もまた脈々と現代まで引き継がれています。



聖母教会 (ドレスデン)

アウグスト強王の命で建築された教会。

第二次世界大戦時の空爆の影響で崩壊したものの、再建され「平和と和解の象徴」として生まれ変わりました。



マイセンの街並み

アルブレヒト城内からみるマイセンの街並み



マイセン大聖堂
アルブレヒト城内にあり、マイセンの旧市街地のシンボリックな建物



マイセン大聖堂内部
13世紀の建物であるため、補修作業も進められています。



有田焼の磁器プレート
マイセン市と、最高峰の磁器産地として有名な佐賀県有田町は友好姉妹都市の関係です。マイセン市街地には有田町から贈られた磁器プレートが飾られています。



市庁舎前で開催された開会式

マイセンワイン祭
マイセンは白磁器だけではなく、ワインの産地としても有名な場所。毎年9月後半にワイン祭が開催されています。

ワイン祭を楽しむ風景



現代のマイセン
現代の芸術家たちが制作したマイセン磁器のマスク



国立マイセン磁器製作所
ティー・サロンではマイセン磁器でお茶が楽しめます。